

科目ナンバリング		P-PUB01 8M024 SJ90			
授業科目名 <英訳>	特許法特論・演習（前期） Special Lecture and Practicum for the Patent Law I	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 高山 周子 非常勤講師 東田 進弘		
配当学年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2025・前期不定
曜時限	水 6	授業形態	特論（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
<p>I. コースの概要</p> <p>本講義では、特許法の概略を学ぶと共に、化学・ライフサイエンスの分野における特許実務のポイントと特有の点を理解する。 基本事項の講義を中心に行う。 具体例に基づいた説明を中心に理解を深める。</p> <p>II. 教育・学習方法</p> <p>・パワーポイント資料を中心にした講義</p>					
[到達目標]					
<p>1．特許法の基礎を学ぶ。</p> <p>2．一般的な特許実務に加え、化学・ライフサイエンス分野に特有の考え方を理解する。</p> <p>3．1と2を通じて、弁理士、特許庁審査官・審判官、その他知財専門家と円滑な意思疎通を図るために必要なレベルの知識を習得する。</p>					
[授業計画と内容]					
<p>1．4月9日 高山 特許実務総論（1） 特許制度の概略、化学・ライフサイエンス分野における特許出願戦略のあり方（事例紹介）</p> <p>2．4月16日 高山 特許実務総論（2） 発明の定義とカテゴリー</p> <p>3．4月23日 東田 特許権 特許権の効力、先使用权、消尽論、実施権等</p> <p>4．5月7日 高山 発明の新規性 発明の新規性、産業上利用可能性</p> <p>5．5月14日 東田 先願 特許法39条、29条の2、上位概念・下位概念の考え方等</p> <p>6．5月21日 東田 特許侵害訴訟等（1） 特許侵害訴訟概要、無効の抗弁、損害額等</p> <p>7．5月28日 東田 特許侵害訴訟等（2） クレーム解釈、均等論、間接侵害等</p>					
----- 特許法特論・演習（前期）(2)へ続く -----					

特許法特論・演習（前期）(2)

8．6月4日 東田 記載要件（1）
実施可能要件、サポート要件等

9．6月11日 東田 記載要件（2）
明確性要件、明細書・実施例の記載等

10．6月25日 高山 発明の進歩性（1）
発明の効果の顕著性と異質性、数値限定発明や選択発明の考え方

11．7月2日 東田 実務上重要な手続き（1）
審査手続き、手続補正と新規事項、分割・国内優先権主張出願、化学・ライフサイエンス分野に特有の実務上の重要事項等

12．7月9日 高山 発明の進歩性（2）
発明の効果の顕著性と異質性、数値限定発明や選択発明の考え方

13．7月16日 高山 実務上重要な手続き（2）
早期審査、情報提供、審判、特許異議申立て制度、特許の存続期間と延長登録制度

14．7月23日 高山 条約及び外国特許出願
パリ条約による保護、特許協力条約による保護、外国出願実務

15．7月30日 高山（問題作成：東田） 確認試験

【履修要件】

知財必修・MPH選択

【成績評価の方法・観点】

平常点（出席を含む）および効果確認試験(最終日)により総合的に評価する
成績評点の種別：素点評価

【教科書】

テキストとして講義ごとにプリントを配布します。

【参考書等】

（参考書）
参考書は、特に指定はありません。例えば、下記のような資料を参考にして下さい。
〔参考書等〕

特許法特論・演習（前期）(3)へ続く

特許法特論・演習（前期）(3)

- 1．標準特許法 第8版（高林 龍著 有斐閣）
- 2．リーガルクエスト知的財産法 第2版（愛知 靖之ら著 有斐閣）
- 3．産業財産権標準テキスト特許編（発明協会）
- 4．知的財産権法文集（発明協会）

【授業外学修（予習・復習）等】

特許庁のHPから入手できる初心者向けのテキストなどをご参照ください。

（その他（オフィスアワー等））

- ・本講座と併せて知的財産経営学基礎を受講することを推奨します。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。